



東京金山会通信

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山 ☎080-5525-0435

No.88

かねやま市近況報告
東京と金山を結ぶ、ふるさとの交流市場

毎月第4土曜日に開催している「かねやま市」は、町関係者の皆さまの温かいご支援、ご協力のもと、継続して開催しています。回を重ねるごとに、近隣にお住まいの方はもちろん、金山町や最上地域にゆかりのある方々にも足を運んでいただけるようになり、「毎月楽しみにしています」と温かいお声を掛けていただく機会も増えました。

販売も好調で、開場から間もなく売り切れてしまう商品も少なくありません。先日開催では地酒が人気を集めて完売したほか、定番商品に加え、旬の山菜など金山ならではの季節の商品も早い時間に売り切れるなど、多くの皆さまに関心を寄せていただいています。

かねやま市は、特産品を販売するだけでなく、金山町の魅力や四季の恵みを東京で感じていただき、人と人とのつながりを育む交流の場でもあります。商品をきっかけに金山町の話題で会話が弾み、「今度帰省したら立ち寄ってみたい」「家族にも紹介したい」といった声をいただくこともあり、私たちにとって大きな励みとなっています。

毎月楽しみに足を運んでくださる方が少しずつ増え、その輪が広がっていくことは、東京から金山町を応援する活動として何よりの



▲かねやま市では玉こんにゃくやごぼうたたき、金山町産の旬の野菜などが販売されました



喜びです。これからも季節ならではの商品や新たな魅力をお届けしながら、ふるさと金山をより身近に感じていただける場づくりを続けてまいります。

ついでに、今後とも町関係者の皆さまをはじめ、多くの皆さまのご支援、ご協力をお願いします。



かねやま紅風会

金山杉俳句会 第五二二回

朴の葉を大きく揺らし風通る
蒲公英の綿毛飛ゆく屋根を越え
阿部 一代(十日町)

緑陰の中に朱の橋縋川
父の日に煙管たばこの考のこと
星川 キエ子(山崎)

手を腰に眺むる先は青田かな
夏物に替えて客待つ座敷かな
岸 昭子(山崎)

軒かすめスーと飛び交うつばめ之羽
夫と娘と歴史の会津夏の旅
高橋 洋子(中田)

藤房の揺れて瞼の重くなり
紫の水玉零す花菖蒲
鶴沼 よし子(十日町)

山墓にちちはは在す立葵
竹林と池が冷房生家なり
栗田 弥超(石巻市)

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の川村佳恵です。今年度も東京・世田谷区にあるコミュニティスペース「タタハウス」での金山イベントの開催に力を入れています。6月10日、タタハウスで鹿児島県さつま町とのコラボイベント「BARよか晩」を開催しました。「BARよか晩」とは、関係人口創出や自治体のファンづくりに積極的に取り組む全国の自治体がコラボしてイベントをし、地域の垣根を越えて新しいファン(関係人口)の輪を広げていく取り組みです。

今回は6月ということで、金山からは「さくらんぼ」や「にら」といった旬の食材をはじめ、ならだいのトーフやさんの「でかたまこん」を持参。さつま町の食材と合わせて調理・提供し、満員御礼となった20名の参加者の皆さんから好評をいただきました。いつも町内で活動してくれる東京都市大学のメンバーにも特製ピーナッツプリンを作って振る舞ってもらい、卒業生も駆けつけてくれるなど、和やかな交流の時間となりました。

また、今回の食材運搬には、JR東日本様と山形県最上総合支庁様にご協力いただき、新幹線での物流サービス「はこびユン」を利用しました。朝採れ食材を新幹線に乗せてその日のうちに都内へ輸送できるサービスで、今回はニラやさくらんぼ、ならだいのトーフやさんのデカ玉こ



▲イベント参加者との集合写真



▲川村隊員が金山町を紹介

BARよか晩～さつまとかねやま～を開催

地域おこし協力隊 かわむら よしえ
川村 佳恵



Instagram
はこちら

